

日本赤十字社愛知県支部の 災害救護活動について

中部防災推進ネットワーク勉強会

内容

1. 日本赤十字社の組織について
2. 日本赤十字社が行う災害救護活動について
3. 災害への備え
4. 赤十字防災セミナーについて
5. 地域における講習普及について
6. やさしい日本語による講習について
7. 防災・減災の訓練、研修に役立つコンテンツについて

1. 日本赤十字社の組織について

日本赤十字社は各区市町村の役所
(役場)等に赤十字を担当する窓口
(地区・分区)がある

本社 ——— 愛知県支部 ——— 地区・分区

支部長

副支部長

事務局

名古屋第一
赤十字病院

名古屋第二
赤十字病院

愛知県赤十字
血液センター

地区・・・名古屋市の区・市・県
事務所

分区・・・町・村

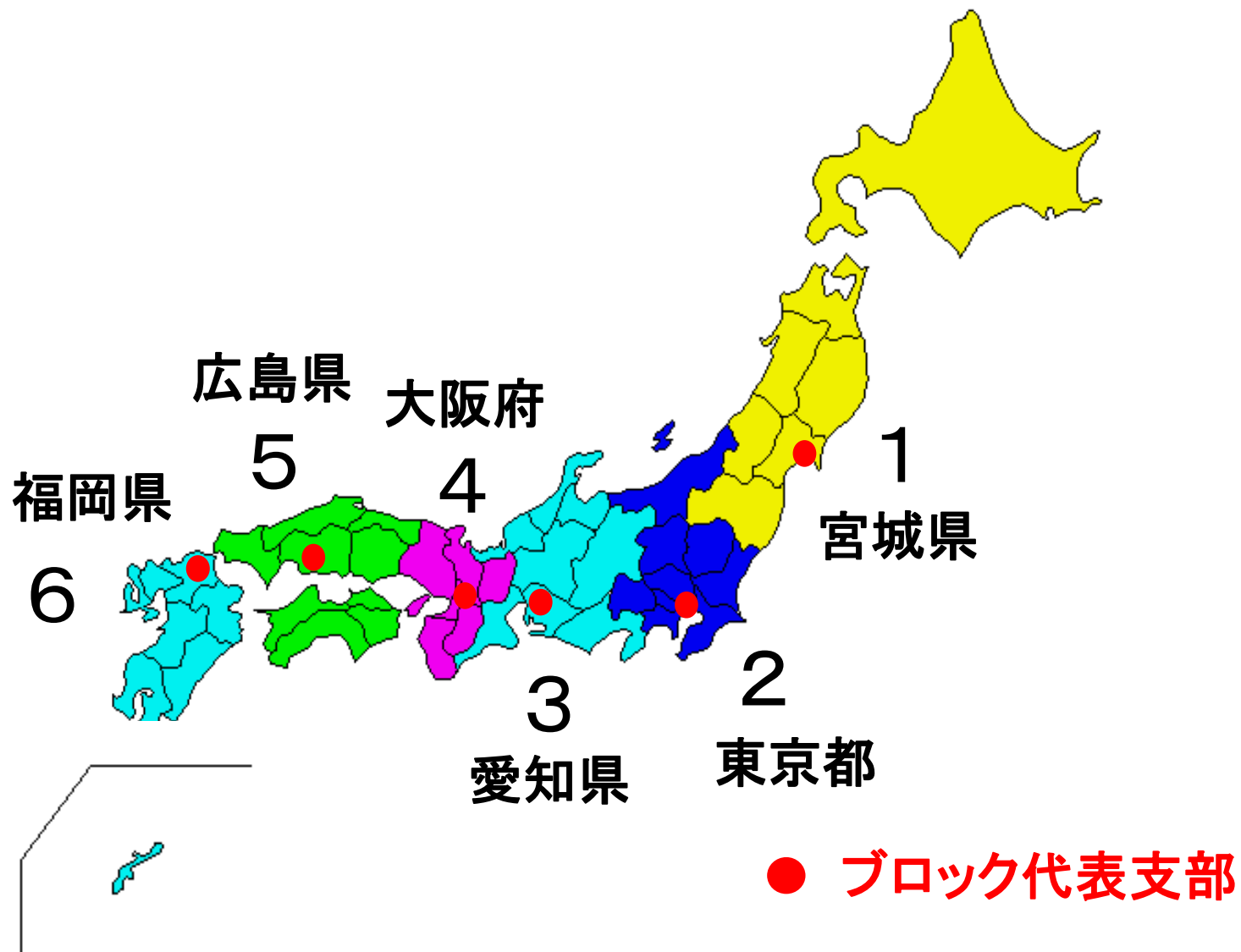
● 1政令市16区、37市
16町村

・福祉関係の部・課

あるいは、

・社会福祉協議会

(参考) 日本赤十字社のブロック体制



3つの活動領域 9つの事業



いのちを救う

今、この瞬間も、世界中には、苦しんでいる人がたくさんいます。

自然災害、紛争、飢餓、病気・・・。

そんな苦しみから、ひとりでも多くのいのちを救いたい。わたしたち日本赤十字社は、医療や災害救護などの「いのちを救う」活動をおこなっています。

▶ 国内災害救護 | ▶ 国際活動 | ▶ 赤十字病院

▶ 血液事業 | ▶ 救急法等の講習



せいかつを支える

だれもが尊厳を持って暮らせる社会を実現したい。

日本赤十字社は、全国で児童・高齢者・障がい者福祉施設を運営しながら、ボランティアのみなさんと一緒に、地域に密着した幅広い活動をおこなっています。

▶ 社会福祉 | ▶ 赤十字ボランティア



ひとを育む

苦しんでいる人を救いたい。そう願う人のちからとところを育むこと。これも、日本赤十字社の役割のひとつです。

看護師の育成はもちろん、青少年ボランティアの実施などをとおして、技術や知識、そして想いを、未来へとつないでいます。

▶ 青少年赤十字 | ▶ 看護師等の教育

日本赤十字社の9つの事業

国内災害救護



災害時にいち早く現場に
駆け付けて救護をするよ

国際活動



世界の紛争、災害、
病気で苦しむ人を救うよ

救急法等講習



応急手当や健康で安全に
暮らせる技術を伝えるよ

医療事業



病産院で専門性の高い
医療を提供していて、
災害時には医療救護もするよ

看護師等の教育



災害医療などを学んで
被災地で活動できる
看護師を養成しているよ

血液事業



患者さんに届ける
血液を献血ルームなどで
いただいているよ

赤十字ボランティア



地域で活動したり、
特殊技能を活用して
ボランティアをしているよ

青少年赤十字



高校生までの青少年の
「気づき、考え、実行する」
力を育てているよ

社会福祉



児童福祉施設を
運営しているよ

赤十字の財源は？

災害救護を始めとする赤十字の活動は皆様からの**ご寄付**により運営しています。

なお、病院運営、血液事業については、独立採算で運営します。

2. 日本赤十字社が行う災害救護活動について

医療救護活動



ボランティアの活動



救援物資の配付



こころのケア



義援金の募集と受付



安否調査



血液センターの活動



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社が災害救護活動を行う基盤 (法的根拠)

- ◇ 日本赤十字社法、日本赤十字社定款及び日本赤十字社救護規則に基づく活動
- ◇ 災害対策基本法・大規模地震対策特別措置法による指定公共機関としての位置づけ
- ◇ 災害救助法による援助活動の協力義務

内閣府（防災担当）と日本赤十字社との協定

協定日：平成27年11月10日

相互協力の内容

- （１）災害予防に関する事
- （２）災害応急対策に関する事
- （３）災害復旧・復興に関する事
- （４）その他災害救護に必要な業務に関する事

災害救助法に基づく日本赤十字社への委託に関する 内閣府特命担当大臣と日本赤十字社社長との協定

協定日：平成31年4月9日

委託の範囲

(1) 避難所の設置

ア.生活環境の整備 イ.こころのケア

(2) 医療及び助産

(3) 死体の処理

ア.死体の洗淨、縫合、消毒等の処置 イ.検案

(4) その他必要な事項

災害救助法に基づく 救助に係る委託に関する契約

締結日：令和2年3月18日

愛知県知事、名古屋市長及び
日本赤十字社愛知県支部長との契約

委託事項：

- (1) 避難所の設置に係る支援
- (2) 医療
- (3) 助産
- (4) 死体の処理

発生年月	災害名称	派遣救護班等
H7年1月	阪神淡路大震災	981個班
H12年3月	有珠山噴火	186個班
H12年9月	東海豪雨	18個班
H16年7月	福井豪雨	49個班
H16年10月	新潟県中越地震	162個班
H19年3月	能登半島地震	24個班
H19年7月	新潟県中越沖地震	44個班
H23年3月	東日本大震災	894個班
H26年9月	御嶽山噴火災害	13個班
H28年4月	平成28年熊本地震	207個班
H30年7月	7月豪雨	87個班
H30年9月	北海道胆振東部地震	53個班
R01年10月	台風第19号	108個班

日赤の救護活動リソース

(平成31年3月末現在)

- 職員 67,478人
- 病院 92病院 (63災害拠点病院)
- 常備救護班 489班 3,437人 (登録救護員 : 5,889人)
- 救護車両 665台(内救急車:153台)
- 医療セット 242セット
- エア TENT 154張
- テント 1,804張 (ドラッシュ・リフト含)
- 発電機 628台
- 衛星電話 479台
- 無線局 3,247局 (150MHz帯1波、400MHz帯1波)
専用波 (基地局・移動局・固定局 = 全国) 赤十字用



災害医療を支える 日赤のロジスティクス



救護班用医療セット



救護所用テント



赤十字専用無線



衛星電話

災害医療における 日赤の機動力



通信指令車



現地災害対策本部車



救急車



トラック

3. 災害への備え(救援物資の備蓄と配分)



毛布
(夏用でタオルケットもあり)

※配分基準(例)

自然災害⇒毛布1人1枚、
緊急セット1世帯1個

火災(全焼)⇒毛布1人2枚



緊急セット
何も持たずに
避難してしまった
場合の、日
用品セット(4
人家族を想
定)



安眠セット
固い避難所で
快適に眠れる
ようなウレタン
製のマットやア
イマスク等

愛知県内の備蓄状況(防災倉庫)



医療圏名称	区域	日赤拠点倉庫
名古屋市	名古屋市	愛知県支部
海部	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村	津島市防災倉庫
尾張中部	清須市、北名古屋市、豊山町	グリーンライン中京(株)倉庫
尾張東部	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町	愛知県赤十字血液センター
尾張西部	一宮市、稲沢市	グリーンライン中京(株)倉庫
尾張北部	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町	犬山市防災倉庫 グリーンライン中京(株)倉庫
知多半島	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町	阿久比町丸山防災倉庫 大府市中央防災倉庫
西三河北部	豊田市、みよし市	日本赤十字豊田看護大学
西三河南部東	岡崎市、幸田町	岡崎市防災倉庫
西三河南部西	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市	安城市中央防災倉庫
東三河北部	新城市、設楽町、東栄町、豊根村	新城市コミュニティー防災センター
東三河南部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市	愛知県赤十字血液センター豊橋事業所 田原市役所赤羽根支所 倉庫 田原市役所渥美支所 倉庫

3. 災害への備え

令和元年度から令和3年度地区・分区救護資材配備事業

【事業目的】

救護資材を配備することにより、地域における災害救護体制の充実を図る。

配備資材		
要援護者対応 災害用簡易トイレ	災害緊急避難用マット	発電機
災害用簡易トイレ	救護用天幕（スチール）	エアーマットセット
携帯トイレセット	移動炊飯器 （L P G・薪両用）	簡易ベッド
ワンタッチパーテーション	バルーン投光器	簡単テント
プライベートルーム	救護資材保管庫	スポットクーラー

※令和元年度実績 15品目：1,153点を配備

例



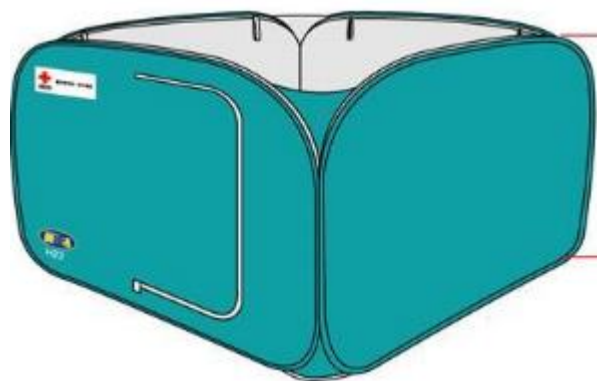
救護用資材保管庫



要援護者対応災害用簡易トイレ



災害用簡易トイレ



ワンタッチパーテーション



プライベートルーム



災害緊急避難用マット

4. 赤十字防災セミナー

赤十字防災セミナーの目的

- 1 災害への備え**
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 2 災害エスノグラフィー**
大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 3 災害図上訓練 (DIG: Disaster Imagination Game)**
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 4 応急手当等**
身近なものを用いた応急手当(搬送含む)をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動)等を学ぶ。

※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

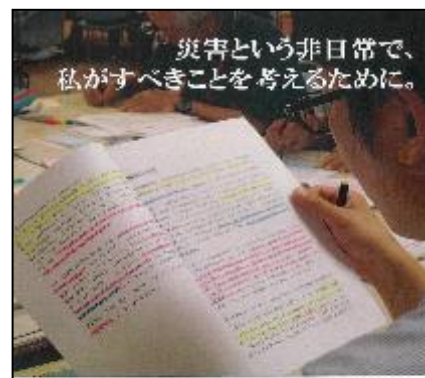
地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成



赤十字防災セミナー 災害への備え

防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。



赤十字防災セミナー 災害エスノグラフィー

被災した人々の視点で書き留められた語り物から、災害を追体験し、被災状況をイメージする。



赤十字防災セミナー 災害図上訓練(DIG)

地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所を把握し、個人や地域での防災意識を高める。
© 2014 Japan Red Cross Society



赤十字防災セミナー 応急手当

身近なものを用いた応急手当をはじめ、一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動)等を学ぶ。

5. 地域における講習普及

1. 少子高齢社会により…

- 子どもの事故予防や、ケガに対する手当（幼児安全法）
- 高齢者のケア（健康生活支援講習）

2. 南海トラフ地震に備えて・・・

- けがや骨折の手当など応急手当（救急法）
- 被災した高齢者の避難所生活知っておきたいこと
（健康生活支援講習）



赤十字ボランティアによる講習普及

5. 地域における講習普及

地域に根ざした講習普及

- 学校、保育園・幼稚園・児童養護施設
⇒保育士、保護者
- 地域内各種イベント(防災訓練 など)
- NPOやボランティア団体
- 町内会・自治会
- 地域内のサークル

など



町内の方を対象に救急法講習



保育園職員への幼児安全法講習



学校での健康生活支援講習

6. やさしい日本語による講習

■ 日本語がある程度理解できる外国人に、**防災・減災の知識・技術**を皮切りに、幅広く赤十字の講習の知識・技術を身につけていただく。

■ 身につけた知識・技術をもとに、災害時には要援護者となるのではなく、**支援者**として活動していただく。



(西尾市・県営住宅)



(豊田市・ブラジル人学校)

いえまですごろく



教材の特徴



防災学習に必要な
キーワードを
ちりばめてある。



45～50分で、
ゲーム、振り返り
をまで行える。



カードゲームの
要素も加え、班全員
で協力しながら
ゴールをめざす。

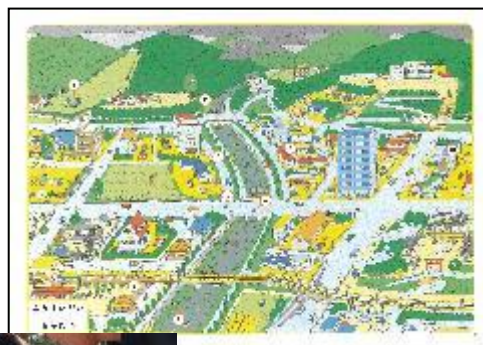
活用の効果とメリット

その後の防災学習へ
発展させられる

1時間の授業で
扱える

話し合いや協力の
トレーニング

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん



教材の特徴

- ① 子どもたちが意見を出し合いながら
災害時の危険な行動や場所について
主体的に考えることができます。
- ② 1枚の絵の中にたくさんの危険な
箇所が盛り込まれており、多くの子
どもたちに楽しんでもらえます。